

課題の抽出について

2025/3/25

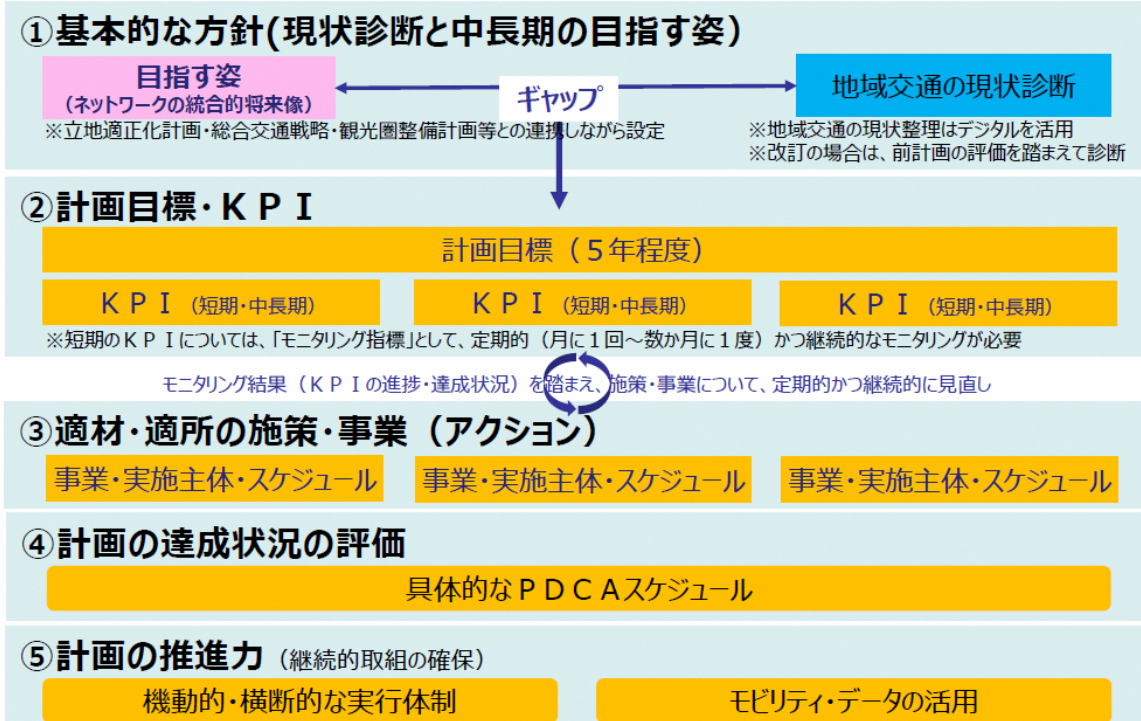
1.国土交通省の示す地域公共交通計画の基本的な構成と立川市地域公共交通計画の構成案

- 国が提案するモデルアーキテクチャ(標準構造)を参考に、立川市地域公共交通計画の作成工程と構成案を示す。
- 工程1:移動像、生活像、将来予測による現状の実態を把握をした。一方で、市として上位計画・関連計画が目指す姿や、市民が期待する移動に対する期待する姿(現在と将来への交通のニーズ)とは実態に乖離(ギャップ)があるため、その解消するための必要な事項を「課題」として整理する。【資料4-1】
- 工程2:整理した課題に対して、市として将来実現を目指す姿(10年後の将来像)を描き、計画期間(5年間)の取り組み方針を作成する。(マスタープラン部分)【資料4-2】

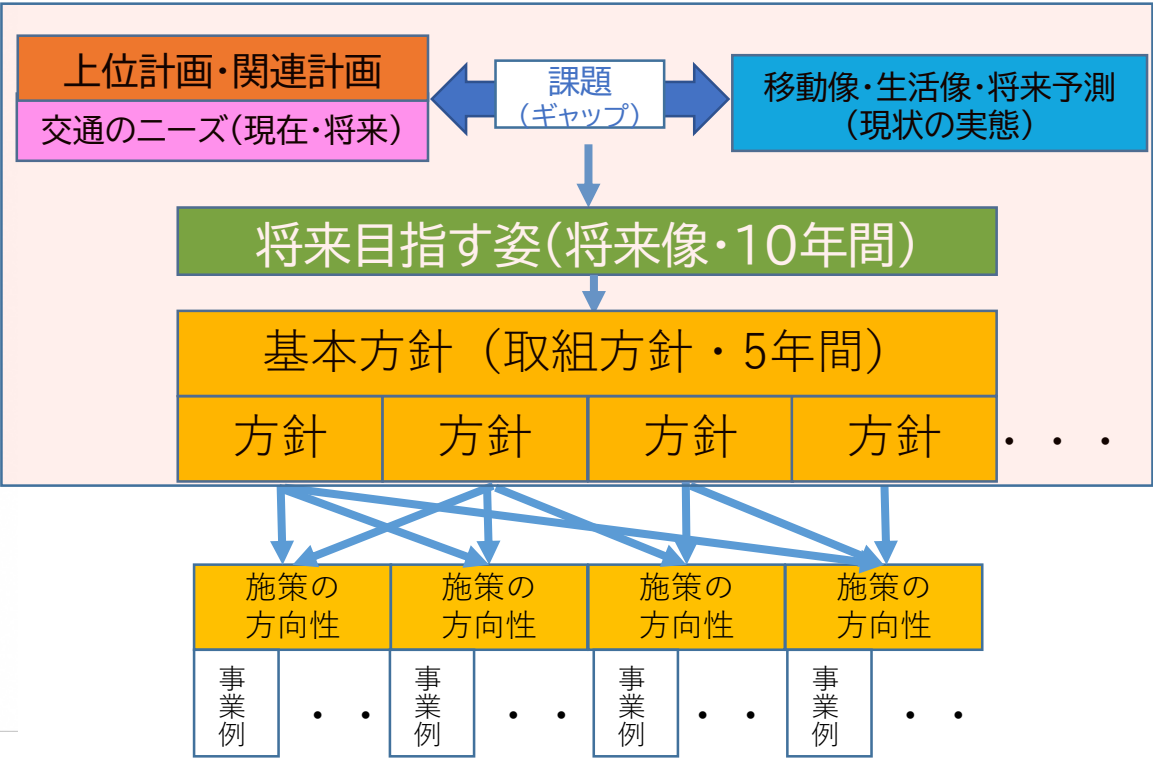
国土交通省（モデルアーキテクチャ）

※規範パート
マスタープラン

※実行パート
アクションプラン



立川市地域公共交通計画構成（たたき案）
（マスタープラン部分）



2. 市の上位計画・関連計画

- 立川市の移動に関する、市の関連する計画を整理する

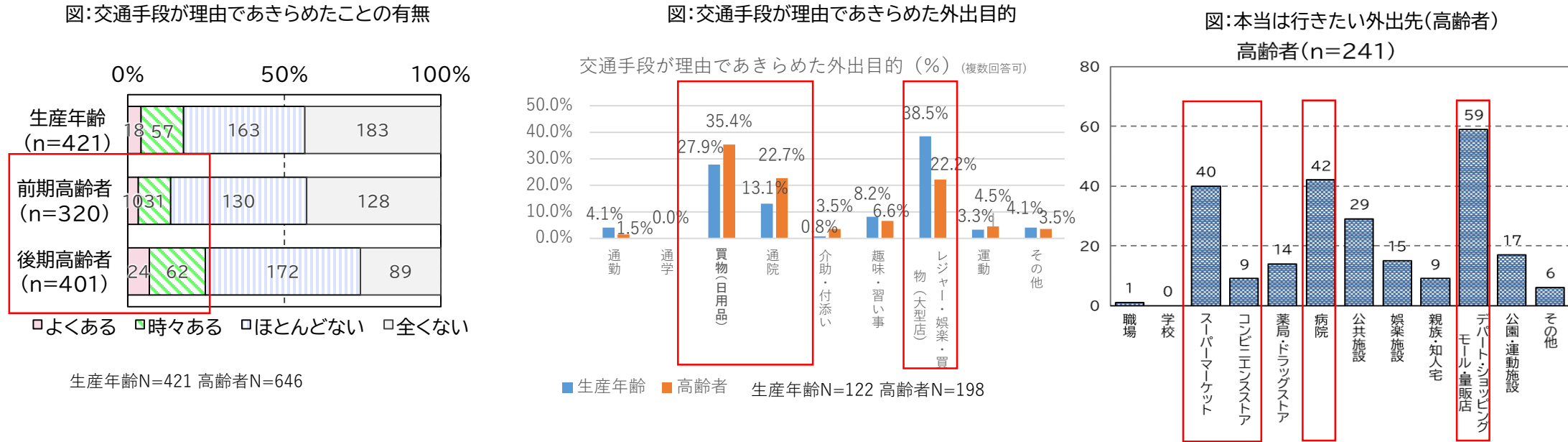
		改訂年	上位計画
第5次長期総合計画	➤ 定時定路線型のバスにより主要な交通ネットワークの構築 ➤ 多様な移動手段の創出により都市活動（市民/地域活動等）を活性化	令和7年	
都市計画マスタープラン	➤ 多摩地域の中心都市としてにぎわい続けるまちづくり ➤ だれもが出かけやすく、出かけたくなるまちづくり	令和7年	関連計画 (抜粋)
第10次高齢者福祉計画	➤ 安全な交通環境の整備 ➤ 必要なサービスが利用できるまちづくり	令和7年	
第4次観光振興計画	➤ 観光型MaaSの深度化等による回遊性創出 ➤ 新たなまちの魅力を創造し賑わい拠点の価値を高める	令和7年	
第3次環境基本計画	➤ 脱炭素まちづくり社会の推進実現	令和7年	
交通マスタープラン	➤ 誰もが快適で暮らしやすく豊かな都市生活を営める都市 ➤ 魅力と活力のある多摩の拠点となる都市 ➤ 安全・安心な市民生活を支える都市	平成25年	地域公共交通計画 へ統合
総合都市交通戦略	➤ 子供からお年寄りまで幅広い世代が多様な交通手段で移動しやすい都市	平成27年	

3. ニーズ（現在・将来）

・ アンケートやワークショップの意見を踏まえて、市民が将来公共交通に期待すること（現在・将来）を把握する。

市民の声

- アンケートでは「外出をあきらめたことが有る」と回答した方は全体の約20％であり、移動に支障を感じていない方が多い。
- 一方で、後期高齢者は前期高齢者に比較して「あきらめたことがあるとした回答」が高く、ワークショップなどでは高齢になり外出をあきらめなくてはならないことを心配する意見もあり、一部の高齢者は移動手段としての公共交通を希望している。
- 外出目的や交通手段があれば行きたいという移動先は、買物や通院、ショッピング等レジャー目的の割合が高い。日常生活に欠かせない移動需要が高い一方、余暇的な活動の移動需要も高いことがうかがえる。



生産年齢N=421 高齢者N=646

生産年齢N=122 高齢者N=198

分類	第1回WSにおける内容
移動	・担い手不足によって路線バスの維持が困難になると思う。 ・今後バス停まで歩けなくなる高齢の市民等も出てくることが予想できる。
生活	・地域の交流できるような拠点となりうる場所があるとよい。 ・健康のためにも出かけたくなるようなまちになるとよい。

出典：立川市 地域公共交通に関する市民アンケート調査、立川市公共交通ワークショップ

4-1. 課題（ギャップ）

- 「移動像」「生活像」「将来予測」を踏まえて、地域と交通の現状把握と対策が必要な課題を整理する。

課題1:路線バスの減便・廃便への対応

上位・関連計画

- ・定時定路線型のバスにより主要な交通ネットワークを構築

上位・関連計画(第5次長期計画、第3次環境基本計画)

交通のニーズ

- ・バスの本数を維持してほしい
- ・(昔のように)増便してほしい

市民ニーズ(WSにおけるご意見)

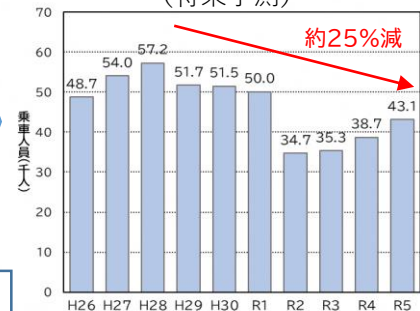


課題
(ギャップ)

現状

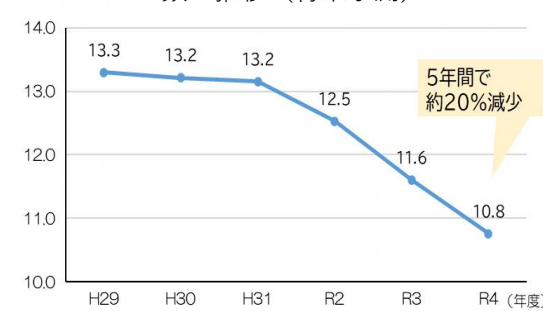
利用者の減少や運転手の不足により、路線バスの減便廃便が進行

図：市内の路線バス乗車人員推移(将来予測)



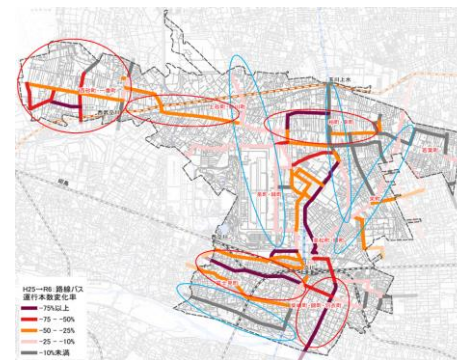
出典：立川市統計年報

図：乗合バス・貸し切りバス運転者数の推移(将来予測)

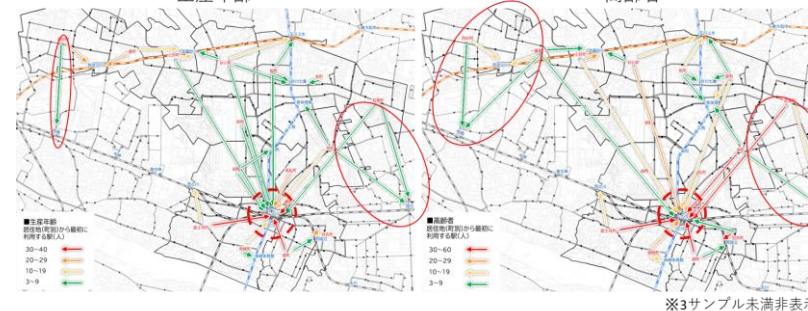


出典：国土交通省「数字で見る自動車」

図：路線バス減便図(移動像)



図：居住地からの外出時最初に利用する鉄軌道駅(移動像)



※3サンプル未満非表示

図：立川市内における幹となる路線(移動像まとめ)



課題1-1

- ・今後、更なる減便により市の骨格となる幹の維持も困難になり、生活の利便性低下する懸念があるため、地域の主要な移動を維持する方法が課題(居住地から交通拠点(JR立川駅など)、他市町村(昭島/武蔵村山市)等)

課題1-2

- ・資源(人材、財源等)が限りあることを踏まえ、多様な移動に対応することが課題

4-2. 課題（ギャップ）

・「移動像」「生活像」「将来予測」を踏まえて、地域と交通の現状把握と対策が必要な課題を整理する。

課題2:高年齢者等の日常の移動手段の確保(※他分野との連携が必要)

上位・関連計画

・だれもが出かけやすく、出かけたくなるまちづくり
・幅広い世代が多様な交通手段で移動しやすい都市

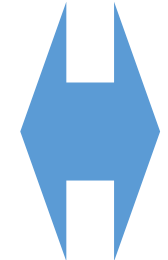
上位・関連計画(都市計画マスタープラン、総合都市交通戦略)

交通のニーズ

・高齢化により自転車・車に乗れなくなることが不安
・外出をあきらめたくない

市民ニーズ(WSにおけるご意見)

市民ニーズ(アンケート)

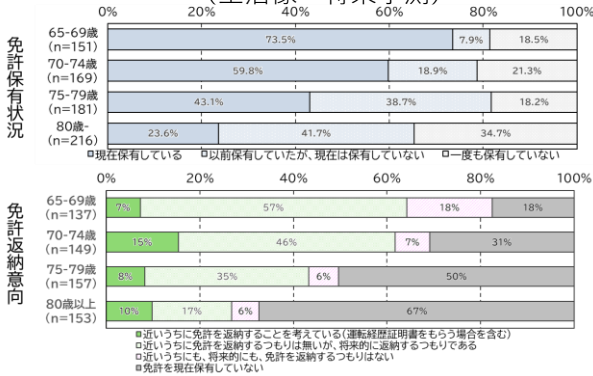
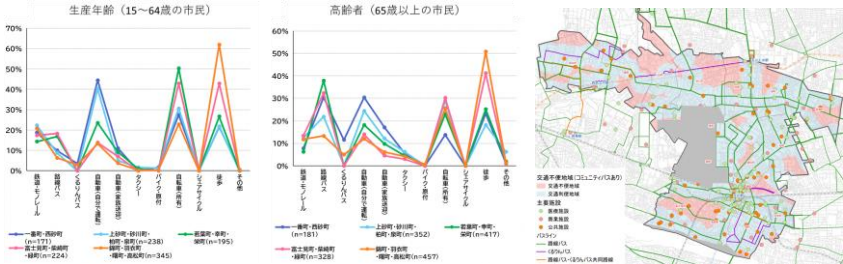


課題
(ギャップ)

現状

・生活施設の立地や公共交通の運行状況により、一部地域では自家用車、自転車を利用した移動が多く見受けられ、高齢化により、外出をあきらめる市民が増える見込み
・交通事業者の担い手不足の他、人口減少・高齢化の進展により、税収の減少・社会保障関係費の増加も見込れる

図：地域ごとの利用交通手段（生活像） 図：公共交通網と主要施設の立地（生活像） 図：年齢別免許保有状況・返納意向（生活像・将来予測）



- 課題 2-1
- ・ 高齢化により、免許返納による自家用車離れや、歩いていける距離の減少(移動できる範囲の縮小)、自転車が安全に利用ができなくなること等を原因とした、高齢者の外出機会の減少への対応が課題
- 課題 2-2
- ・ 外出が困難な市民(高齢者等)の外出を支援するため、「公共交通施策」と「公共交通施策以外の施策(福祉等)」との連携方法が課題
- 課題 2-3
- ・ 既存の公共交通ではカバーしきれない地域に対して、地域の状況に適合した対応のあり方が課題

4-3. 課題（ギャップ）

- 「移動像」「生活像」「将来予測」を踏まえて、地域と交通の現状把握と対策が必要な課題を整理する。

課題3:まちづくりと連携した日常的な拠点の結節機能の強化(※他分野との連携が必要)

上位・関連計画

- 多様な移動手段の創出により都市活動を活性化
- 多摩地域の中心都市としてにぎわい続けるまちづくり
- 回遊性創出・賑わい拠点の価値向上

上位・関連計画(第5次長期計画・都市マスタープラン・観光振興計画)

交通のニーズ

- 市外からの来訪者は交通面での整備や拡充を要望
- 市民は地域内に交流の拠点を要望

表 立川に求めるもの

項目名	集計値	構成比(%)
交通面での整備や拡充	22	6.4%
治安・安全対策	16	4.6%
設備の整備や拡充	16	4.6%
環境整備	15	4.3%
案内表示	8	2.3%
今のままでよい、十分	18	5.2%
その他	111	32.1%
わからない	14	4.0%
特になし	126	36.4%
全体	346	100.0%

第2回WSにおける内容

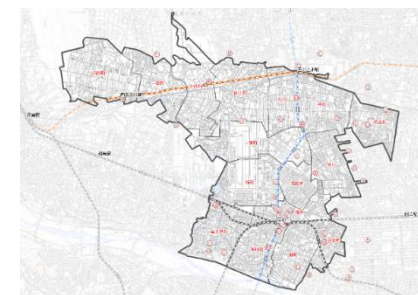
- 地域の交通や拠点を話し合う集まりが必要

現状

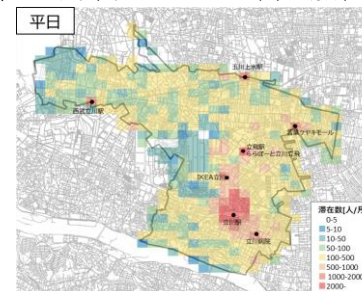
立川駅周辺や他鉄道駅・大型商業施設は交通/生活拠点として需要・供給が集積

図：市内の町別移動実態（生活像） 図：主要商業施設の立地状況（生活像）

町別	移動実態(人)	移動実態(人)	移動実態(人)	移動実態(人)	移動実態(人)	移動実態(人)	移動実態(人)	移動実態(人)	移動実態(人)
立川市	5,624	27%	13%	8%	7%	4%	4%	4%	4%
一宮町	5,502	26%	12%	7%	7%	4%	4%	4%	4%
上野町	6,923	29%	13%	8%	7%	4%	4%	4%	4%
砂川町	9,019	37%	15%	9%	7%	4%	4%	4%	4%
稲野・幸町	13,917	54%	18%	10%	7%	4%	4%	4%	4%
若菜町	4,682	18%	12%	7%	7%	4%	4%	4%	4%
桑野・稲野(西)	1,235	5%	12%	7%	7%	4%	4%	4%	4%
桑野・稲野(東)	7,647	30%	13%	8%	7%	4%	4%	4%	4%
桑野	5,380	21%	12%	7%	7%	4%	4%	4%	4%
高松町・稲野	5,158	20%	12%	7%	7%	4%	4%	4%	4%
高松町・稲野	10,362	40%	13%	8%	7%	4%	4%	4%	4%
稲野・幸町	6,574	26%	13%	8%	7%	4%	4%	4%	4%
立川駅周辺	29,484	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



図：立川市内における滞在場所（生活像）



課題3-1 都市活動の活性化に向けて、市民・来訪者の外出を促進する必要がある、拠点づくりと合わせてその拠点へのアクセス・回遊を担う移動手段が課題

課題3-2 枝葉の交通手段の構築には、地域と連携・協力できる環境・仕組みづくりが必要であり、世代/地域の枠組みを超えた交流の場/機会創出するための拠点が課題